

渡良瀬遊水地のファンクラブ

「渡良瀬ナイツクラブ」の会員募集について

1、組織

治水や利水、自然、歴史、レジャー・スポーツなど様々な要素を持つ渡良瀬遊水地の今の環境を守り、より良くするために行動し、“守り人”となり遊水地を保全し続け未来につなぐことを目的とした会員組織のファンクラブです。

栃木市の渡良瀬遊水地に占める割合が71.2%であり、また市の基本計画で遊水地を守る人を渡良瀬ナイツと位置付けていることから、「渡良瀬ナイツクラブ」とします。

2、会員募集内容

対象：渡良瀬遊水地に関心があり“守り人”になってくれる老若男女

入会金及び会費：無料

申込：4月1日（金）から

3、サポート店募集内容

対象：会員向けにサービスを提供する企業・団体

登録料：無料

申込：4月1日（金）から

4、申込方法

遊水地課（藤岡遊水池会館2階）または市ホームページ内にある入会申込書に必要事項を記入の上、メール、FAXにて申込。

栃木市電子申請システムでも申込み可。

5、問合せ先

栃木市総合政策部遊水地課 担当：小堀、堀江（電話：0282-62-0919）

渡良瀬遊水地絶滅危惧種復活プロジェクト

1、目的

渡良瀬遊水地での絶滅危惧種の保全として、かつては生息していたが、環境等の変化により、今では見るができなくなった植物の再生に向けた取り組みを昨年から引き続き、市民の参加者とワークショップ形式で実施します。これにより、参加者に対し保全の重要性についての理解を深めてもらい、また、より多くの方に関心を持ってもらうことで、渡良瀬遊水地の「守り人」を育成し、絶滅危惧植物を保全していくことを目的とします。

2、これまでの事業内容

谷中村役場跡前の池は、かつては絶滅危惧種の「ミズアオイ」が咲く、きれいな池がありました。ミズアオイが咲いたことのある場所では、その場所を掘ることにより、長年眠っていた種子が発芽し、花が咲くことがあります。

その特性を利用し、再び池にミズアオイを復活させるために、昨年度は、池の現地調査を実施しました。その後参加者による希少植物やミズアオイについての学習会や、2月には、実際に自分たちで池を掘ることによって、地下水の有無やヨシの根が地中深くまで伸びている状況を確認しました。

3、今後の事業計画

4月上旬に地元建設業組合の協力を得て、重機にて掘削します。

掘削にあたっては、今後池を守っていく「守り人」の方々や来訪者に、より親しみをもってもらうために、池をハート形に掘ります。

今後については、ミズアオイが発芽できる環境を市民・関係団体・行政や4月より発足する「渡良瀬ナイツクラブ」会員が協力して整備し、環境学習のみならず観光スポットとして保全し、継続的に管理できる体制を築きます。

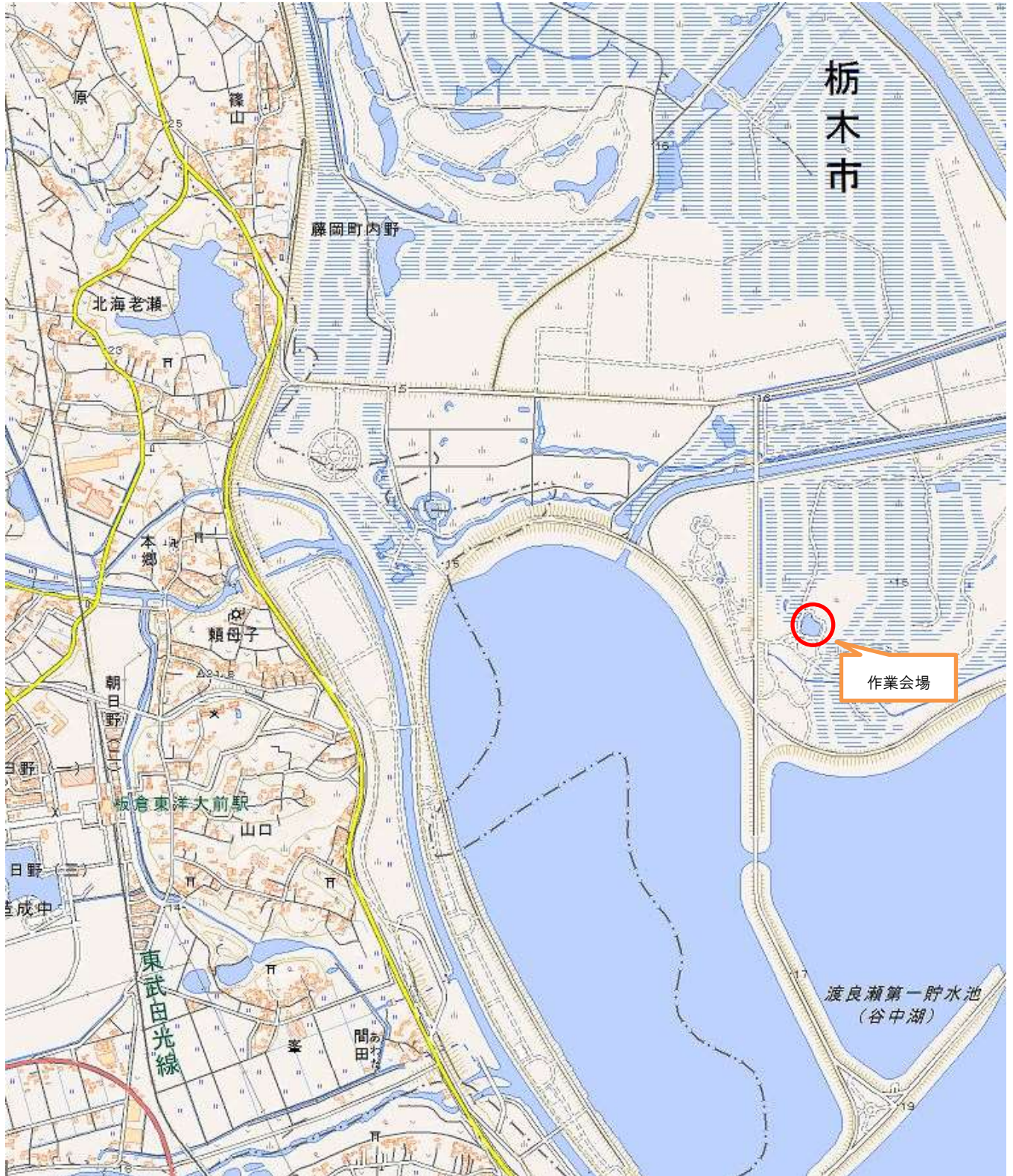
今回は、重機で掘削した後のヨシの根の取り除き作業及びハート形の形成作業を実施します。

4、開催内容

- ・ 日 時：平成28年4月30日(土) 13:30～15:00
- ・ 場 所：栃木市藤岡町渡良瀬遊水地 (体験活動センター・学習ハウス)
- ・ 対象者：植物に興味があり、自然環境の保全に関心のある方
- ・ 定 員：30名
- ・ 参加費：無料
- ・ 申込み：4月18日(月)～4月27日(水)

電話にて遊水地課 0282-62-0919

位置図



渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座

1、概要

渡良瀬遊水地に来訪する方々に対し、ボランティアとしてガイドができる人材を養成します。遊水地の役割、自然、歴史、レジャースポーツなどを２年間で学べます。

今回でボランティアガイド養成講座は、４回目の募集となります。すでに１期生は、昨年４月に渡良瀬遊水地ガイドクラブを発足し、これまでに２０００人を超える来訪者を案内するなど活動している。４月からは２期生も加わり、より案内体制の充実が期待される。

今回の養成講座は、渡良瀬遊水地の３県境の観光振興についても協力していく、群馬県板倉町と埼玉県加須市と共催で開催し、各自治体の観光についても、講座のメニューに取り入れる。

2、募集内容

日時：４月２３日（土）～平成２９年２月１１日（土） 全１１回

毎回土曜日の１０時～１２時

※平成２９年度は中級（２年目）として開催予定

場所：栃木市藤岡遊水池会館ほか

対象：２年間の講座終了後、ボランティアガイドとして活動できる方

定員：先着２０名

参加費：無料（資料代実費）

申込み：４月６日（水）～１５日（金）

電話にて遊水地課０２８２－６２－０９１９